

喜多流自主公演

令和六年五月

令和6年 5月4日(土)

12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

鉄半頼

輪部政

狩野 出雲 栗谷
了一 康雅 明生

令和6年度 喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和6年度自主公演(令和6年4月~令和7年3月)の会場は **観世能楽堂** となります。

- ◆ 指定席券販売中
- ◆ 令和6年度は全7回公演です。
- ◆ 令和6年度 喜多流自主公演年間優待券(税込) 発売中
7枚綴 56,000円 / 5枚綴 40,000円
- ◆ 会場 観世能楽堂

観世能楽堂ホームページ ▶▶



チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

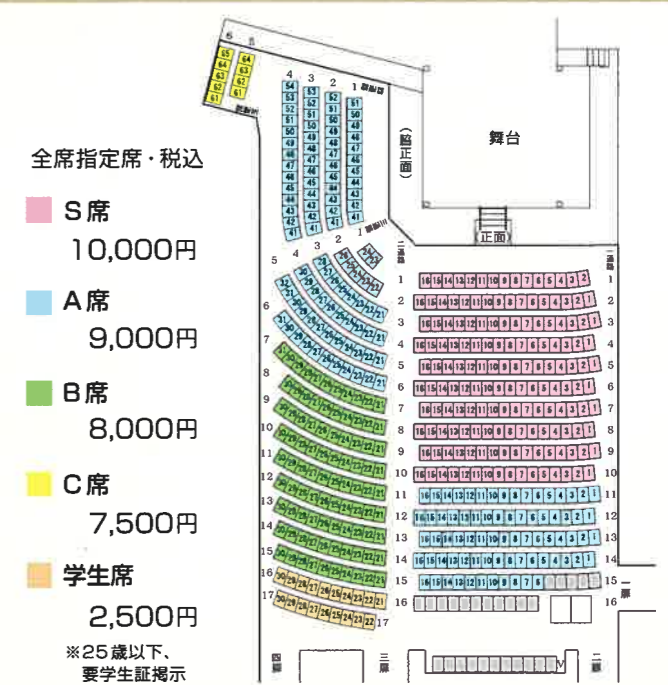
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせたご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回りにご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階
会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)
観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務局)
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車でお越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車でご来場の際はご注意ください。

能

頼政

後シテ・頼政の霊
前シテ・老人 粟谷明生

ワキ・旅僧 福王和幸

大鼓 柿原弘和
小鼓 観世新九郎 笛 藤田貴寛

アイ・宇治の里人 三宅近成

後見 香川靖嗣
谷 大作

地謡 高林昌司 粟谷充雄
佐藤陽 内田成信
塩津圭介 長島茂
谷 友矩 大島輝久

狂言

蚊相撲

シテ・大名 三宅右矩

アド・蚊の精 高澤祐介
小アド・太郎冠者 大塚 出

休憩(二十分)

能

半部

後シテ・夕顔の上の霊
前シテ・里女 出雲康雅

ワキ僧 殿田謙吉

大鼓 國川 純 松田弘之
小鼓 曾和正博 笛

アイ・五条辺の者 金田弘明

後見 塩津哲生
大島輝久

地謡 高林昌司 高林呻二
谷 友矩 金子敬一郎
佐藤寛泰 大村 定
狩野祐一 佐々木多門

休憩(十分)

能

鉄輪

後シテ・鬼女
前シテ・女 狩野了一

ワキ・阿倍晴明 則久英志
ワキ連・男 野口琢弘

大鼓 大倉慶乃助 太鼓 梶谷英樹
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 栗林祐輔

アイ・貴船明神の社人 前田晃一

後見 友枝昭世
内田安信

地謡 金子龍晟 粟谷浩之
佐藤寛泰 長島茂
友枝真也 中村邦生
狩野祐一 友枝雄人

附祝言

終了予定時刻 十七時頃

頼政(よりまさ)

京都から奈良へと旅をする僧が宇治の里に立ち寄り、辺りの景色を眺めていると、老人が現れ宇治の名所を教え、平等院に案内する。扇の形に残された芝を不思議に思い僧が質問すると、これはかつて戦があった際に源三位頼政が扇を敷いて自害した跡だと説明し、今日はちょうどその命日に当たり、自分こそその頼政の幽霊であると名乗って消える(中入)
夜になり説経し仮寝する僧の夢枕に、法体の身に甲冑をまとった頼政の霊が現れ、治承の夏に高倉宮と共に平家打倒を企てたが、戦に敗れ、終にこの芝の上で辞世の句を遺して自害した様を物語り、僧に回向を頼み、消え失せてしまうのだった。
(約八十五分)

蚊相撲(かずもう)

新しい家来を召し抱えようとした大名が、太郎冠者をその遣いに出す。太郎冠者は街道でとある男を見つけ連れて帰り、大名に引き合わせる。男の腕を確かめるために相撲を取るようになるが、実は男は蚊の精で...
(約二十五分)

半部(はしとみ)

京都の紫野の僧が、一夏安居の修行を終え、修業の間に供えてきた花のために草花を集めて花の供養を行っていると、どこからともなく女が現れ白い夕顔の花を捧げる。名を尋ねる僧に対して女は、五条辺りの者、とだけ言い残し花の陰に消え去る。(中入)
僧がその言葉に従って五条あたりまで赴くと、草が一面に生い茂り荒れ果てた住居があり、往事を思わせるように夕顔の花が咲いている。やがて半部を押し開けて夕顔の上の霊が現れると、かつて夕顔の花が縁となり光源氏と契を結んだことを語り、舞を舞い、夜が明けぬうちに半部の内に隠れ、夢と消えてしまうのだった。
(約八十五分)

鉄輪(かなわ)

自分を捨て後妻を娶った男への恨みを晴らそうと、女が貴船明神へ丑の刻詣をしていると、社人が現れ神託を告げる。曰く、鉄輪の足に松明を立て頭に戴き、顔に丹を塗り、身には赤い衣を着し、怒れる心を持てば、願いを叶えよう、との告げである。女は神託を実現させ男に思い知らせるため急いで我が家へ帰ってゆく。(中入)
一方、男は最近夢見が悪いので陰陽師の阿倍晴明を訪ねると、女人の恨みにより、命も今夜に窮まっていると言い渡され、調伏の祈祷をお願いする。阿倍晴明は祭壇の四隅に御幣を立て夫と後妻の人形を作り祈祷を始める。やがて、鬼女となった前妻の生霊が現れ命を取ろうとするが、退けられ、今日のところは一先ず帰ろう、と言いつつ消え失せるのだった。
(約六十五分)

令和六年七月二十八日(日) 正午始

会場 観世能楽堂

●前売券販売中

賀茂 高林 呻二
夕顔 塩津 圭介
綾鼓 大村 定